

イノシシと共存？

久しぶりのイノシシ侵入

ジャガイモやサツマイモ、カボチャなど、イノシシに狙われやすい野菜を作るのをやめた2018年以来、イノシシが畑に入ることはなく、もっぱらシカからの食害を気にしていました。しかし、今年に入ってから時折、掘り跡や糞など、イノシシが入ってきた形跡が見られるようになりました。今年は、今まで食べていなかった、パースニップやパセリの根を狙ってきているようです。

防獣柵で侵入を防ぐ

畑の周囲に建築用の金網(ワイヤーメッシュ)を使って、防獣柵を作りました(①)。畑の周囲に張り巡らすので、最終的に全長は1000m以上になります。当初は、この柵だけでイノシシは入ってこなくなったのですが、しばらくすると、地面を掘って穴をあけ、そこから入ってくるようになりました(②)。



① 2011年3月22日
初期の防獣柵。
2mおきに柱を立て、金網を張りました。柱と柱の間にはペグを打って補強しています。



② 2016年7月14日
防獣柵の下を掘って侵入。
柵の下を掘り、金網の下部を曲げて、入ってくるように。ペグや支柱は抜けていることもありました。



③ 2016年7月14日
鉄筋を使って柵を補強。
柱の間隔を50cmに狭くして、地際に直径13mmの鉄筋を這わせて、柵がめくれ上がらないようにしました。

下からの侵入を防ぐために、支柱の量を3倍にし、掘りやすい地面の柔らかいところには、柵の下部に鉄筋も入れました。(③)

柵が丈夫になると、しばらくは入ってこなくなりましたが、次は出入り口の部分を壊して侵入するようになりました。丈夫にすればするほど、畑への出入りに手間がかかるようになるので、対策が難しいです。



2020年4月23日
扉を持ち上げて、侵入されました。

食べつくすまでやってくる



2016年7月14日
サツマイモを掘られました



2016年7月15日
ほとんど食べられてしまいました。

イノシシは、食べ物を見つけると、食べつくすまで、毎日のようにやってきます。壊された柵を修理しても、次の日また違った場所を修理することの繰り返し、食べつくされるまで続きます。

これに対抗するには、先に収穫することですが、収穫時期もあり難しいことが多いです。

2016年には、まだ収穫には早い、太り始めのサツマイモを、一晩ですべて食べられたこともありました。

ついに鉢合わせ



どこにいるかわかりますか？



10mくらい先の草むらに、イノシシが隠れていました。

今年の4月15日、畑に侵入していたイノシシと、初めて遭遇しました。

畑を歩いていたところ、ガサガサと音がして、小型のイノシシが、草むらの中から走り出しました。その距離10mくらい。初めての遭遇でした。以来、草むらの中にイノシシがいる気がしてなりません。